

自主防さかど

～坂戸市自主防災組織 合言葉～

「命と財産は地域の力で守る！」

平成30年12月1日 第20号

発行 坂戸市自主防災組織連絡協議会
 事務局 坂戸市総務部防災安全課
 〒350-0292
 埼玉県坂戸市千代田一丁目1番1号
 TEL 049 (283) 1331
 FAX 049 (283) 3903



今年も多くの自主防災組織が自主防災訓練を行っています。10月28日(日)には関間2区防災会が坂戸・鶴ヶ島消防組合の指導のもと、自主防災訓練を行いました。消火器やAEDの使い方、119番のかけ方など、参加者の方は皆熱心に訓練に取り組んでいました。

地域防災力の強化～自分たちの街は自分たちで守る～

関間2区防災会 会長 村主 喜代美



関間2区防災会は、「自らの生命は自らで守る」という自助と、「自分たちの街は自分たちで守る」という共助・近助の考え方を重要視し、自主防災組織が発足しました。

毎年5月には、講師を招いた自主防災についての勉強会、9月の市民総合防災訓練

に併せた応急手当及び避難訓練、また、10月には全区民を対象として、消防組合にご協力をいただき、消防訓練も実施しています。

これまで、「防災に関することは男性が行うもの」と考えていましたが、男性と女性では実際に被災された時の支援ニーズが異なり、様々な方が被災する中で、男性だけの視点では気付けないことがあ

ります。そのため、男性・女性双方の視点に立ち、対策をすることが大切だと感じています。

今年の6月に発生した西日本豪雨では、犠牲者の7割以上の方が60歳以上の方であったとのことで、自力で避難することができない方や耳が聞こえづらい方、情報を持っていても避難しない方などの存在が浮き彫りになりました。一方で、近所で声をかけ合って避難し、ひとりの人的被害も出さなかった地域もあったそうです。

関間2区でも、区民の高齢化は他人事ではありませんが、こうした日頃からの自主防災活動が住民同士のつながりを強め、いざという時には強い結束力が発揮できる地区にしていきたいと考えています。



坂戸市の自主防災組織 組織率 (H30.11.1 現在)

対象の区・自治会数…154 (北坂戸団地自治会は街区単位)

自主防災組織結成の区・自治会数…138 (107 自主防災組織)

●区・自治会数での組織率…89.6%

●世帯数に対する組織率…93.3% (埼玉県 90.4% H30.4.1 現在)

地域の絆でいざという時の対策を！

坂戸市自主防災組織連絡協議会 会長 小林 榮次



今年も大地震や異常気象による大災害が世界中で発生しています。日本も例外でなく、今年の台風第7号において、西日本地域は河川氾濫、土砂災害等が発生したことにより、大勢の尊い人命が失われたほか、家屋、インフラ等へのダメージ等、日常生活にも大きな影響を与えました。

また、北海道胆振地方で今年9月に震度7の地震が発生し、甚大な被害が発生しました。今後、これが異常でなく、ごく自然の出来事になっていくのではないかと危惧しています。

坂戸市では現在、107団体の自主防災組織が地域の防災活動に取り組んでおり、地域住民の皆様も大変心強く感じていることと思います。自主防災組織を結成していない地域におかれましても、早期の結成を図れるよう、私たちも協力していきたいと考えています。

昔から「天災は忘れたころにやってくる」と言われておりますが、現在はインターネットを含めたマスメディアの発達により、世界中で発生した災害が瞬時にわかる時代で、忘れる間もなく、様々な情報を得られるようになりました。これらの災害を対岸の火事と考えず、日頃から地域住民を巻き込んだ防災訓練や災害時用の防災備品、飲料水・非常食の整備を行っていく必要があります。

同じ坂戸市でも、各々の地域・地区によって災害の質は異なっています。大きな川に近く、比較的低地の地区では水害への備えが、傾斜地のある多和田・西坂戸地区の一部では土砂災害への備えが必要になります。各地域・地区によって、地域特性を考慮した防災対策を講じ、避難方法や避難場所等について、地域住民に理解していただくことも重要です。

そして、高齢者の方や身体の不自由な方（避難行動要支援者）の安全が確保できるよう、日頃から自主防災組織と民生委員で連携し、いざという時に見過ごすことがないように、注意していきましょう。

自然災害はいつ、どこで、どのように発生するかは、現在の科学でも完璧に予知・予見することは難しいと考えます。特に大地震に関しては、過去の例を見ても明白です。日本では首都直下地震の発生確率が30年以内に70%とされており、近い将来に発生することを想定し、行政と地域で協力し、ハード・ソフトの両面を充実させていく必要があります。

冒頭の台風第7号における被災者の多くは、「自分の住んでいるところが、こんなに危険な場所とっていなかった。」と語っていました。防災において大切なことは、自分の住んでいる場所がどのような災害に弱いか知っておくことです。自らの地域の弱さを理解することで、地域における防災対策もよりよいものになってくることと思います。

昨年の「自主防さかど第19号」でもお伝えしましたが、坂戸市の防災マップには水害、地震に関する被害想定や、日頃からの備え等がわかりやすく記載されています。この防災マップが有効活用されるよう、啓蒙していただければと思います。今年の坂戸市民総合防災訓練は、雨天により残念ながら中止となりました。ご準備いただいております関係者の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。私たち自主防災組織は、今後益々その重要性・必要性を期待されます。地域の安全・安心に少しでも寄与できるよう、力を合わせてまいりましょう。今後とも、住民、地域防災関係者の皆様におかれましては、ご理解、ご支援をお願いいたします。

平成29年度事業報告

総会、本部役員会7回、支部会議、HUG訓練、その他の事業については、下記のとおり実施しました。

- ・平成29年10月31日（火）視察研修（そなエリア東京ほか）
- ・平成29年12月1日（木）会報第19号発行
- ・平成29年2月8日（木）自主防災組織リーダー養成講座

災害時協力井戸水質検査補助金

自主防災活動支援の一環として、井戸の水質検査費用の補助事業が開始されました。

災害時に地域に井戸水を提供していただける井戸の水質検査が対象となります。詳しくは坂戸市防災安全課にお問い合わせください。

【支部一覧表】

支部	地域防災拠点
三芳野支部	三芳野公民館、上谷小学校
勝呂支部	勝呂公民館
坂戸支部	中央公民館、坂戸市文化会館、県立坂戸ろう学園
北坂戸支部	北坂戸公民館
浅羽野支部	浅羽野公民館
千代田支部	千代田公民館
入西支部	入西地域交流センター、健康増進施設
大家支部	大家公民館、若宮中学校
城山支部	城山公民館、城山学園

平成30年度事業計画及び予算の概要

平成30年度総会において承認された事業計画及び予算の概要は下記のとおりです。

事業計画概要

平成30年6月3日（土）総会

本部役員会7回（5・6・8・10・11・1・3月の第3木曜日）

- ・通年：各支部において支部会議や訓練等を随時開催
- ・訓練・研修・広報の各部会開催
- ・会報第20号発行（12月1日）

予算概要

歳入は、会費、市補助金及び前年度繰越金等で545,000円を見込んでいます。

歳出は、視察研修、会報発行などの事業のために、300,000円の事業費を、各支部における支部会議や訓練実施のために143,500円の支部活動費を計上しています。その他、会議費、事務費、予備費を計上しています。

支部活動

平成26年度に発足した各支部では、支部会議を年2回以上開催し、組織体制、自主防災訓練等の活動状況、防災用資機材等の整備状況などの情報交換及び協議を行っています。

また、DIG訓練（災害図上演習）やHUG訓練（避難所運営訓練）も実施していきます。

自主防災活動の実績

平成29年度自主防災訓練実施状況（補助金活用分）64/104団体（実施率61.5%）参加者 4,490名
平成29年度資機材整備状況（補助金活用分）19団体 補助金額1,267,300円

【避難所運営を想定 HUG訓練】



8月23日(木)、坂戸市役所で「HUG訓練」を実施しました。

HUGとは「避難所運営ゲーム」の頭文字を取った略語で、避難者に見立てたカードを使い、避難所の運営を図上で体験するものです。当日は、埼玉県自主防災組織リーダー養成指導員3名の指導のもと、14名の方が訓練を行いました。

訓練を通して、「繰り返すことで、いざというときに役立つと思う」、「実際の避難所の様子を聞いて、危機感を持った」という感想が寄せられ、避難所運営に対する意識が培われました。

【地域防災活動の活性化を！ e防災マップ説明会】

9月5日(水)、坂戸市役所で「e防災マップ説明会」が開催されました。

e防災マップとは、インターネットを通じて多くの人に見てもらえる、縮尺を自在に変えられるなど、従来の紙の防災マップの弱点を補う防災マップです。今回、防災科学技術研究所の指導のもと、14の自主防災組織が活動を開始しました。

最初は「パソコンの操作に戸惑った」と困惑する方もいましたが、操作に慣れると「紙に書き込むよりも細かく、きれいにできた」や「インターネットで誰でも見られるのは便利だ」という声が多く挙がりました。

防災科学技術研究所の方も「e防災マップをひと

つの手段として、地域の防災活動を活性化してほしい」と期待を寄せていました。



【水害から身を守るために さかど水防災セミナー】

11月24日(土)、勝呂公民館多目的ホールで自主防災組織連絡協議会と坂戸市の共催で、「さかど水防災セミナー」を開催しました。

このセミナーは、近年坂戸市を含めた全国各地で水害による被害が多発している状況を踏まえ、市民へ水防災に対する啓発を図ることを目的に、関係機関協力のもと開催しました。

当日は、国土交通省荒川上流河川事務所の荒木副所長、気象予報士の水越祐一氏を講師に迎え、水防や昨今の気象状況に関して、講演していただきました。

また、10月に市が導入した



水越祐一氏

排水ポンプ車の展示がされたほか、プールを使った排水ポンプ車の稼働デモンストレーションも行われました。



排水ポンプ車

新規結成！自主防災組織のご紹介

【清水町一区防災会】 設立年月日：平成 30 年 4 月 1 日

代表者：石田 和広

清水町一区は住宅が密集した市街地にあるため、大地震等の大規模災害が発生した場合に、地区住民が安全に避難できるようにすることが重要と考えています。今後、定期的に防災会議を行い、備蓄品や資機材の整備を含め、防災活動を行っていきます。

今後、地区の皆様にも、防災について関心を持っていただけるよう、自主防災活動を推進していきますので、よろしくお願いいたします。



【欠ノ上自治会防災会】 設立年月日：平成 30 年 4 月 1 日

代表者：小島 武司

役員を選任と運営資金がネックとなり、自主防災組織の設立が先送りとなっていましたが、この度設立に漕ぎつけました。役員や運営資金についてのルールも決まりましたので、今後自主防災活動に地区を挙げて取り組んでいきます。

来年度以降、自主防災訓練の開催や備蓄品などの整備についても検討し、若い世代を巻き込んだ活動を行っていきたいと思いますので、関係者の皆様、ご指導の程よろしくお願いいたします。



【大字成願寺防災会】 設立年月日：平成 30 年 4 月 20 日

代表者：澤田 雅美

大字成願寺防災会は、加入世帯は108世帯で、14名の役員で運営をしております。全世帯の約4割が転入者で、若い世帯も増えてきています。

成願寺地区は、畑地が広がる高台にあり、長閑なところです。北には葛川が、南には高麗川が流れ、西は毛呂山町に隣接しています。また、地区内には、地域防災拠点となる若宮中学校があります。

現在、自主防災組織としての活動を推進中です。関係者の皆様にはご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



今後も自主防災組織を新たに結成する地区を募集していきます！

結成に際し、お困りのことがございましたら、防災安全課までご相談ください。

新規結成
自主防災組織
108団体目
募集中！

坂戸市公式メール配信サービスにご登録を！

坂戸市では、下記の防災・防犯に関する情報をメールで配信しています。

未登録の方は、是非、右記 QR コードを読み取るか、又は下記メールアドレスへ空メールを送信のうえご登録をお願いします！

登録メールアドレス：touroku@mobile.city.sakado.lg.jp

配信メール：【防災・防犯情報】【防災行政無線】【気象情報】【地震情報】【竜巻注意情報】等

